

報告事項 3

「第7回神戸マラソン」開催準備状況について

「第7回神戸マラソン」開催準備状況について、以下のとおり報告する。

平成29年10月30日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪村新之助

第7回神戸マラソンの開催準備状況等について

1 大会概要

- (1) 大会名称 第7回神戸マラソン
(2) 主催 兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
(一般)兵庫陸上競技協会
(3) 開催日時 平成29年11月19日(日) 9:00～
(4) 種目・定員・コース

種目	定員	制限時間	コース
マラソン (42.195km)	20,000 人	7時間	神戸市役所前スタート、垂水区西舞子付近折返し、ポートアイランド(市民広場付近)フィニッシュ

- (5) 大会テーマ 「感謝と友情」
(6) ボランティア 7,535名(6/30募集終了時)
(7) ランナー受付・EXPO
11/17(金)13:00～20:00、11/18(土)10:00～19:00
神戸国際展示場1号館1階：感謝と友情ゾーン
(物販・展示、グルメ、ステージ等開催)
2階：ランナー受付
神戸国際展示場2号館1階：スポンサーゾーン
(8) 公式行事
11/18 レセプション〔知事、市長、有森裕子、金哲彦、招待選手ほか〕
記者会見〔招待選手ほか〕
11/19 スタートセレモニー
〔知事、市長、有森裕子、金哲彦、仙台市立南材木町小学校、
兵庫県立神戸高校ほか〕
表彰式、クロージングセレモニー

2 第7回大会の重点項目など

- (1) 震災復興の教訓と感謝を国内外に発信する取り組み
スタートセレモニーで「しあわせ運べるように」の合唱とランナー「2万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」を実施する。震災復興の象徴である、ひまわりの花をイメージした黄色の「ひまわりの手袋」をボランティアや大会関係者、沿道応援者の一部に配付する。また、EXPOですべてのランナーに「ひ

まわりの種」を配付する。また、コース沿道の一部（垂水平磯緑地）にひまわりを咲かせるとともに、黄色の手作り応援グッズの自発的な作成により、一体感のある応援を創出する。

また、東日本大震災・熊本地震との被災地交流事業を実施する。仙台市立南材木町小学校南の星合唱団のスタートセレモニーでの合唱や宮城県ゆりあげ閑上さいかい市場によるグルメエリアの出展、東北地方の物産販売を行う。熊本城マラソンとのパートナーシップ協定を締結し、被災地のマラソン大会同士の連携をする。熊本城マラソン実行委員会は、EXPO会場で熊本応援・PRブースを出展する。

（２）マラソンランナー２万人に対応した安全・安心な大会運営の充実

① ウェーブスタート

昨年に引き続き、時間差スタートを実施する。第１ウェーブを３ブロックから７ブロックに細分化することで、ランナーの安全を確保するとともに記録の向上を目指す。

② ランナーサービスの充実

- ・折り返し地点に設置していたモニュメントのデザインを一新し、「折り返し」と「がんばれ！！」を日本語・英語・中国語・韓国語の４か国語で表記する。
- ・次のトイレまでの距離が長い場所には基数を多く配置する。洋式トイレは全体で26基から45基へ増設し、各仮設トイレ場所に最低１基を配置する。
- ・コースの一部変更に伴い、より効果的に給水が摂取できるよう、給水か所を変更する。神戸マラソンメディカル協議会からの提案を受け、コース前半にカロリーが摂取できる給食を配置し、EXPO会場の給食展示ブースにて、早目に給食を摂取する必要性について広報する。

③ マナーアップの啓発

- ・「みんなで守ろう！神戸マラソン５つのマナー」の発信を強化するため、かるた形式のデザインで掲出する。また、雨天対策として「もしもの時の雨天に備えて」を作成する。いずれも大会ホームページや参加案内に掲載し、ランニングクリニックで配布し、EXPO会場でも掲示する。

④ 救護・警備体制の充実

- ・神戸マラソンメディカル協議会において、第7回神戸マラソンの医事・救護計画を作成し、重症事案へ対応する。
- ・9月15日にランナーの心肺停止事案とコース沿道での突発的な発生事案の緊急時対応訓練を実施した。

(3) 3つの大会コンセプトの具現化

① チャレンジマインド

「神戸マラソン開催応援プロジェクト」に賛同していただき、兵庫県または神戸市に10万円以上「ふるさと納税」をされた方200人（兵庫県・神戸市各100人）に出走権を進呈した。寄附金を財源とすることで、6か国から男女計8人の海外のエリートランナーを招聘することができ、第8回大会での国際陸上競技連盟（IAAF）のロード・レースラベル「ブロンズラベル」取得に向けた取り組みを実施している。

② ホスピタリティマインド

インターナショナルな大会を目指し、県・市の関係部局、外郭団体、国際・観光関係団体とも連携して外国人へのPRに努めるとともに、海外居住ランナーの応募を先着順、応募時の同時入金対応にするなど、応募方法を改善し、大会への参加促進に努めた。

※海外居住ランナー応募確定数1,313人（第6回大会入金者：652人）

③ ボランティアマインド

EXPO会場、救護所付近、その他の沿道に通訳のできるボランティアを配置する。

3 応援・集客イベント等周辺事業

(1) 若松公園：「ふれあいフェスティバル」

ステージイベント、ブース出展、東北地方の物産販売

(2) ノエビアスタジアム神戸

：「スポーツフェスティバルinノエビアスタジアム神戸」

ステージイベント、有名選手によるスポーツ体験教室、プロスポーツチームPRブース出展

(3) フィニッシュ地点：お出迎え応援

兵庫県警察音楽隊の演奏、地元住民、大学等、公募団体の応援

(4) 市民広場：「神戸マラソンフィニッシュパーク」の開催

ランナーの家族・友人や市民をもてなすステージイベントの実施、物販・グルメブース等の設置

(5) 沿道応援(スタート地点を除く)

- ・パフォーマンススポット：若松公園、ノエビアスタジアム神戸付近等15か所
- ・ジャズスポット：三宮中央通りで演奏
- ・浜手バイパス～神戸大橋上(走路員・ボランティアとして地元大学生が協力)
- ・沿道自治会等による応援(応援グッズを配布)

4 ひょうご・神戸の魅力発信事業

(1) ジャズ関連事業

EXPO会場、三宮中央通り、県立舞子公園内「旧武藤山治邸」、フィニッシュパークでジャズ演奏応援及びジャズイベントを実施する。

(2) スイーツ・グルメ関連事業

フィニッシュ地点で洋菓子約20,000個をランナーへ配付し、EXPOでの物販ブース出展や沿道給食の提供を実施する。

(3) 地場産業等との連携

上位入賞者の副賞として、日本真珠輸出組合から真珠、淡路瓦工業組合から瓦製品を提供する。有馬温泉観光協会による有馬の湯「金泉」の足湯を提供する。レセプション参加者へ灘五郷酒造組合の協力により日本酒を提供する。

5 フィニッシュエリアでの応援・賑わいづくり

フィニッシュでランナーをお迎えする賑わいづくりについては、これまでのように地域にお願いする形を取らず、一般参加者による応援と神戸マラソン実

行委員会が主体となって、地元の大学や高校の吹奏楽部やジャズチームの演奏を中心としながら、さらに公募による応援グループを充実させて賑わいの創出を実施したいと考えている。

現在、各大学、高校等と打ち合わせを進めている。

- ・ 地元大学等

神戸学院大学、同附属高校、兵庫医療大学、夙川学院短期大学、兵庫県警察音楽隊

- ・ 公募による応援団体数：9団体

劇団、チアダンス、ミニトランポリン、演舞、吹奏楽など